

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年6月10日)

[件 名]

- 東京 2025 デフリンピック大韓民国代表選手団キャンプ受入れに係る協定の締結について
【スポーツ課】・・・ 2 ページ
- 東京 2025 世界陸上事前キャンプに向けた取組について
【スポーツ課】・・・ 3 ページ

地域社会振興部

東京 2025 デフリンピック大韓民国代表選手団キャンプ受入れに係る協定の締結について

令和7年6月10日
スポーツ課

東京 2025 デフリンピック大韓民国代表選手団（ボウリング・柔道）のキャンプ受入れについて、オンラインによる協定締結式を行いましたので、その概要を報告します。

1 概要

(1) 日時 6月5日（木）午後4時15分から4時40分

(2) 協定者

鳥取県	知事	平井 伸治
鳥取県障がい者ボウリング協会	会長	島谷 龍司
鳥取県柔道連盟	会長	前田 秀司
韓国特殊体育学会	会長	イ・ジェウオン
大韓障がい者ボウリング協会	会長	チャン・ソクチャン
大韓障がい者柔道協会	会長	キム・ヨンホ



(3) 協定概要

- ・ボウリング及び柔道の代表選手団のキャンプを受け入れ
- ・県は、手話及び言語通訳のスタッフ配置や練習施設、移動手段等、円滑なキャンプ環境を提供
- ・韓国選手団は、可能な範囲で練習を公開、鳥取県選手との合同トレーニングを実施、県民との交流事業へ参加
- ・鳥取県は県内の交通移動費、練習施設利用料等を負担、韓国側は渡航費、宿泊費及び食費を負担

2 協定者の御発言

(1) 平井知事

鳥取県での事前キャンプ、しっかりと準備をして受け入れさせていただく。
韓国の選手の皆さんがメダルをたくさん獲得されるよう応援する。

(2) イ・ジェウオン会長（大韓民国を代表して）

最高の事前キャンプになるよう最善を尽くす。

(3) チャン・ソクチャン会長（大韓障がい者ボウリング協会）

スポーツを通じた協力の場が広がり、文化と友情が更に深まることを期待。

(4) キム・ヨンホ会長（大韓障がい者柔道協会）

鳥取県でのキャンプにより、デフリンピックで良い成績を収めることができると信じている。

(5) 島谷龍司会長（県障がい者ボウリング協会）

韓国の選手団の皆さんを万全の体制で受入れできるよう準備を進める。日韓の交流がますます強まることを期待する。

(6) 前田秀司会長（県柔道連盟）

柔道連盟として、すばらしい準備ができるようにベストを尽くす。両国の友好と交流を深めていく。

【今後のスケジュール】

- ・令和7年6月30日～7月2日 韓国側による練習会場の事前視察、各競技団体の面談
- ・令和7年7月21～25日 鳥取キャンプ（ボウリング）
- ・令和7年8月20～25日 全国キャラバン鳥取県巡回
- ・令和7年11月上旬 鳥取キャンプ（柔道）
- ・令和7年11月15～26日 東京2025デフリンピック開催

<デフリンピック全国キャラバンの概要>

全国ろうあ連盟関係者がキャラバンカーで47都道府県や市町村を巡回訪問し、各地で啓発イベントや開会式で上映するための動画等を制作する。キャラバン隊の出発式は、全国ろうあ者大会（6/15）にあわせて岩手県盛岡市で実施予定。

- ・期間：令和7年6月15日～11月14日（全国巡回）

東日本班（岩手県出発）、西日本班（大分県出発）の2班体制

<東京2025デフリンピック概要>※第1回開催から100周年

- ・正式名称：第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025
- ・大会期間：2025年11月15日～26日（12日間）
- ・競技種目：21競技（ゴルフ、ハンドボール、陸上競技、ボウリング、サッカー、バスケットボールなど）
- ・開催地：東京都・福島県（サッカー）・静岡県（自転車）
- ・参加国：70～80か国・地域 ・参加者数：約6,000人（選手約3,000人、スタッフ約3,000人）

東京 2025 世界陸上事前キャンプに向けた取組について

令和7年6月10日
スポーツ課

本年9月開催の「東京 2025 世界陸上」に出場する海外代表選手団の事前キャンプに向け、ジャマイカ陸上競技連盟が「布勢スプリント 2025」への出場にあわせて来県されたほか、官民連携による実行委員会を設立したので概要を報告します。

1 布勢スプリント 2025 に伴うジャマイカ陸上競技連盟の来県

ジャマイカ陸上競技連盟のガース・ゲイル会長等が来県し、キャンプ地となる布勢陸上競技場の視察のほか鳥取東高校生徒と交流を行いました。

(1) 日 程 5月28日(水)から6月2日(月)(5/28及び6/2は移動日)

(2) 来県者

- ・ガース・ゲイル氏(ジャマイカ陸上競技連盟会長)
- ・デビッド・ライリー氏(ジャマイカ陸上競技連盟コーチ)
- ・キース・ウェリントン氏(ジャマイカ陸上競技連盟役員)
- ・アドラ・キャンベル氏 女子選手(16歳)※自己ベスト11秒58
- ・マリク・ヌージェント氏 男子選手(16歳)※自己ベスト10秒35

(3) 内容

- ・鳥取市長表敬、鳥取東高校の生徒との英語授業、陸上部との部活動等で交流を実施。
- ・事前キャンプ打合せは、練習会場となる布勢陸上競技場の視察やウェイトトレーニング器具の確認、スポーツドリンクの試飲等を実施。また、事前キャンプに従事する通訳ボランティア(9名)との交流を実施。
- ・布勢スプリント 2025 グランプリレースにジャマイカ高校生選手2名が出場し、キャンベル選手は女子100m決勝で4位(タイム:11:60)入賞を果たした。



鳥取東高校英語授業の様子



陸上部との交流の様子



2 「東京 2025 世界陸上事前キャンプ実行委員会」設立総会の開催

海外代表選手団を円滑に受け入れるため、官民連携による実行委員会の設立総会を開催しました。

(1) 日 時 6月3日(火) 午後1時から1時30分

(2) 場 所 とりぎん文化会館 第3会議室

(3) 委員構成

会 長：平井知事(鳥取県)

副会長：深澤市長(鳥取市)、浜崎会長((一財)鳥取陸上競技協会、鳥取県議会ジャマイカ・鳥取友好議員連盟)

委 員：(公財)鳥取県スポーツ協会、鳥取市教育委員会、(一社)鳥取市観光コンベンション協会、(株)鳥取空港ビル、ホテルモナーク鳥取、(公社)鳥取県医師会、(公社)鳥取県看護協会、(一社)鳥取県理学療法士会

(4) 内容

- ・事前キャンプ受入体制の整備、海外代表選手団と県民との文化・スポーツ交流、協賛金の募集、東京 2025 世界陸上へ向けた機運醸成などに一丸となり取組む旨の報告がされた。
- ・予算：13,214千円(うち県・市負担金：各5,000千円、協賛金3,214千円)が承認された。
- ・委員4名から前回のキャンプで培ったノウハウを活かしながら、選手にとって最高の環境を提供したいなど、事前キャンプ受入に向けて決意表明をいただいた。
- ・ジャマイカ陸上競技連盟ゲイル会長のビデオメッセージが上映された。

<コメント> **“世界陸上で全力を出し切り、活躍するため、鳥取に事前キャンプで戻って来るのを楽しみにしています。”**

【参考】東京 2025 世界陸上事前キャンプ概要(ジャマイカ)

期 間：9/1(月)～9/11日(木) 11日間

(※東京 2025 世界陸上：9/13(土)～9/21(日))

会 場：ヤマタスポーツパーク(鳥取県立布勢総合運動公園)

規 模：選手、役員・コーチ等、計約80人(※2015年と同規模を想定)



記念撮影の様子